

## 第1回震災予防講演会「大津波の予感 2010年チリ地震を巡って」報告

平成23年2月4日（金）13:00～16:30 パシフィコ横浜・アネックスホールにおいて、標記の講演会が開催されました。本講演会は、(財)震災予防協会が30余年にわたり震災予防のために行ってきたが、日本地震工学会がこの歴史ある講演会を本年度より引き継ぎました。参加者は125名(申込者)と多く、会場がほぼ満席となる盛況ぶりでした。

プログラムは以下のとおりです。

司会：	武村 雅之(本会事業企画委員会・震災予防講演会部会長)
13:00～13:10 開会挨拶	久保 哲夫(本会会長)
13:10～13:15 趣旨説明	武村 雅之
13:15～14:15 50年前の記憶：1960年チリ地震津波	首藤 伸夫(東北大学名誉教授)
14:15～15:15 2010年チリ地震津波とその被害	藤間 功司(防衛大学校教授)
15:30～16:30 津波被害の諸問題：東海・南海地震	林 能成(静岡大学准教授)
16:30～16:35 閉会挨拶	木全 宏之(本会事業企画委員長)

久保会長による開会挨拶の後、武村氏から、本講演会の歴史や本年度のテーマについての趣旨説明がありました。首藤名誉教授には、1960年のチリ地震津波等の経験を今後の津波対策に生かすための知見について御講演頂きました。藤間教授には、2010年チリ地震のチリ及び日本の被災調査結果から今後の津波対策についての知見について御講演いただきました。林准教授には、2004年インドネシアの津波による被災者や1944年東南海地震の被災者への聞き取り調査から津波避難への諸問題について御講演いただきました。長時間にわたって御講演いただきました、講師の先生方に心より御礼申し上げます。

なお、本講演会は、第15回「震災対策技術展」に伴って開催された講演会の一つである。「震災対策技術展」の実行委員長は、本会の久保会長が務められ、2月3日の開会式では主催者を代表して、ご挨拶ならびにテープカットが行われた（詳細は後日報告予定）。



写真1 久保会長の開会挨拶



写真2 首藤教授の講演



写真3 藤間教授の講演



写真4 林准教授の講演

(文責：事業企画委員会 平井 俊之 (株) ニュージェック)